

事業番号	09 03 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	S53 ~	E-mail	nogi @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・米・麦・大豆及びそば等の土地利用型作物については、需要に応じた生産や品質の確保・向上が求められており、営農の継続が可能な所得の確保・向上を図るため、生産者団体等関係機関と連携した産地づくりを図る必要がある。

・米については、農産物検査に基づく全国トップクラスの1等米比率の維持・向上（全国2位→1位）や実需者ニーズに沿った適正生産を推進する。

・主要農作物種子については、「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に沿った種子生産技術の向上と、施設整備支援等による安定的な種子供給体制の整備が求められている。

2 事業目的

・米については、長野県産米の強みである高品質の維持や輸出用米の取組拡大等の新たな米の需要創出を図り、需要に応じた米の適正生産に引続き取り組むとともに、麦・大豆・そばについても国内需要が高まっていることから、安定生産と実需者から求められている品質向上により産地づくりを推進する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①主要農作物の戦略的な生産拡大・ブランド確立の推進**
- ・水稲「風さやか」の品質向上やブランド化を推進するため、イベントの開催やPRの実施
 - ・酒造好適米「山恵錦」を推進するため、既存品種からの転換による生産拡大と栽培適地での産地化
 - ・麦、大豆の産地力強化のため、実需者ニーズに即したオリジナル品種の推進や研修会等を実施
 - ・信州ひすいそばを生産拡大するため、産地化に取り組む地域の支援
- ②主要農作物の種子生産者に対する支援等**
- ・種子の安定生産を図るため、種子生産者が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、後継者の確保・育成及び機械施設の改修による種子生産体制の整備
- ③水田農業の体質強化の支援**
- ・水田を活用し、需要の見込める品目の導入・拡大による、主食用米需要の減少化においても稼げる産地づくりを推進
 - ・主食用米の国内需要が減少し、在庫量増大による需給緩和を解消するため、海外需要に目を向け、輸出用米等へ転換する取組を支援

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	主要農作物のオリジナル品種の栽培面積	ha	3,003	3,088	↗	4,060	↗	4,282	未達成	オリジナル品種の拡大状況を評価するための指標として、主要農作物（米・麦・大豆・そば）の推進状況を踏まえ、4,282haと設定。	
②	主要農作物種子の生産計画達成率	%	95	103	↗	104	↗	100	達成	種子産地、及び種子管理団体の計画の進捗状況を図るため、生産実績による計画達成率を目標とした。	
③	水田への高収益作物などの作付面積	ha	10,942	11,506	↗	11,969	↗	12,112	未達成	主食用米の計画生産と、需要を踏まえた水田への高収益作物などの作付け誘導により、水田の利活用状況について評価するための指標として設定し、R5年度は生産数量目安を考慮し12,112haとした。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額				決算額	職員数	
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R5年度	1,567,340	572,523	116,901	2,256,764	28,464	1,732,016	6.0
R4年度	1,320,828	1,251,176	△ 274,969	2,297,035	29,500	593,133	6.0
R3年度	0	1,004,087	971,617	1,975,704	36,625	341,368	7.0

事業番号	09 03 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

7 主な取組実績と成果

<p>①主要農作物の戦略的な生産拡大・ブランド確立の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲「風さやか」のモデル実証ほ（2か所）を設置して品質向上対策を推進。 ・12月に「風さやか」食味コンテストを開催したほか、15秒テレビCMのオンエア（120本）、番組「駅テレマルシェ」でのレシピ紹介等のPRを実施。 ・JA技術員及び普及指導員を対象とした麦・大豆・そば生産拡大・品質向上研修会を開催（大豆・そば生産拡大・品質向上研修会1回、麦作検討会1回・延べ126名）。 ・県オリジナル品種（米・麦・そば・大豆）の作付面積が前年度から約30%増加（R4;3,088ha、R5;4,060ha）。 <p>②主要農作物の種子生産者に対する支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種子産地の維持・効率化を図るため、将来を担う種子生産者支援事業等により、水稲種子用コンバイン等の導入を支援（1か所）。 ・水稲種子の品質向上に向けたチラシを作成（1回）。 <p>③水田農業の体質強化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主食用米の需要減少化においても水田を活用した産地づくりを推進するため、水田農業経営確立推進指導事業等により、需要の見込める品目の導入・拡大を支援。 ・これにより、加工用米の作付面積は前年度から約16%（R4：631ha⇒R5：733ha）、新市場開拓に向けた、輸出用米の作付面積は前年度から約41%増加（R4：173ha⇒R5：245ha）。 ・地域計画の策定に併せて畑作物の本作化や輪作・ブロックローテーション体制の構築を推進するため、水田活用指導マニュアルを作成して支援センターへ配布。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	主要農作物のオリジナル品種の栽培面積	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
作付面積は増加したものの、コロナ禍の影響が継続したことで米、そばの需要量の落ち込みが大きく、目標値には届かなかった。特にそばについては、コロナ禍により、観光需要が激減したことから、栽培面積も減少した。							
指標②	主要農作物種子の生産計画達成率	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
水稲種子の品質向上に向けたチラシ作成により、適正な種子生産を支援したところ、目標値を上回った。							
指標③	水田への高収益作物などの作付面積	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
輸出用米の取組拡大の支援等により、直近5年間では最大であったR4年度に次ぐ作付転換面積となったものの、目標の作付面積には届かなかった。							

9 今後の事業の方向性

<p>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・食の多様化による主食用米の需要の減少が続いている一方で、輸入小麦の価格高騰などで外食産業やインバウンドを中心に米の需要が高まっていることから、需要に応じた品質の高い主食用米生産が求められている。 ・麦、大豆、そばについて、実需から求められる質、量に達していない。特にパン用小麦の品質・需要量のミスマッチが続いている。 ・主要農作物の種子産地では、後継者の確保・育成と施設の老朽化が進んでいることから、種子生産ビジョンに掲げた方針に沿った種子場の維持、発展が必要。 ・水田農業の高収益化においては、水田担当のみならず、園芸担当、基盤整備担当等が一体となった推進体制のもと取組を推進しているが、地域において畑地化の動きがみられることから一層の取組が必要。
<p>(2) 事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産米の強みである高品質を維持するとともに、エビデンスに基づく販路拡大により県オリジナル品種のシェアを確保する。また新たな需要創出のため、米の輸出を推進する。 ・麦、大豆の品種転換を契機とし、基本技術の再徹底による品質向上を図るとともに、米の需給調整と食糧安全保障の両面から、増産を推進する。 ・「長野県主要農作物種子生産ビジョン」に基づき、「種子場産地強化計画」の策定を進め、技術継承や施設更新について計画的な支援を行う。 ・各地域において高収益作物導入に意欲のある農業者に対して技術的・経営的な伴走支援を実施する。

事業番号	09 03 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業		90,156 千円	283,643 千円	1,509,724 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	穀物生産振興施設等の整備に対する支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある農業者等が穀物産地の営農戦略に基づく収益力強化の取組に必要な農業用機械・施設等の整備を総合的に支援 ・施設整備2か所、機械のリース導入4か所 		
2	水稻及び麦・大豆・そばの生産振興	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・需要に的確に対応した米・麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催 ・研修会5回（米1、麦1、大豆・そば1、総合1、雑草対策1） 		
3	農産物検査に関する業務	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入調査の実施 ・登録更新9件、立入調査13機関を予定 		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	主要穀類戦略的産地育成・普及拡大支援事業		3,492 千円	3,467 千円	3,930 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県オリジナル品種（米）の普及促進	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・県オリジナル米「風さやか」の品質向上、栽培技術向上及びブランド化に向けたイベントの開催、PR活動の実施のため、「風さやか」推進協議会を支援 ・「風さやか」食味コンテストの開催、15秒テレビCMのオンエア（120本）、番組「駅テレマルシェ」でのレシピ紹介等 ・「風さやか」モデルほ場の設置（2か所）、品質向上チラシを配布（7月） ・「風さやか」生産面積 1,712ha（R5） 		
2	小麦、大豆の産地育成の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・実需者ニーズに即した産地別の品種作付誘導の推進 ・品種転換を契機にしたドローン防除・排水対策技術導入等による産地力強化 ・品種転換を契機にした排水対策技術導入等による産地力強化（7産地） 		
3	信州ひすいそばの産地化支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・信州ひすいそばの生産拡大に向け、信州ひすいそば新規栽培支援事業（お試し栽培）により新規取組を支援（R5～） ・ブランド力向上に向け、R3年度からの品種の全面切替を踏まえてPRポスターを作成 ・信州ひすいそば新規栽培支援事業（お試し栽培）3者、48a（R5） ・そば長野S11号（信州ひすいそば）の生産面積75ha（R5） ・信州ひすいそばPRポスターを刷新（1,000枚） 		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	種子対策事業	14,074 千円	14,595 千円	12,589 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	主要農作物の種子生産者に対する支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 種子生産者等が策定した「種子場産地強化計画」に基づく、機械施設の導入による種子生産体制の整備 水稲・麦種子産地（原種センター）の機械導入1か所 	
2	奨励品種決定調査	直接	<ul style="list-style-type: none"> 原原種及び原種の採種ほ場の設置 奨励品種決定調査の実施 奨励品種決定審査ほ場の設置21か所（米10、麦4、大豆3、そば3） 	
3	原種センターへの支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 主要農作物種子（米、麦、大豆、そば）の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係る原種センターへの支援 人件費補助3名分及び種子備蓄経費等を支援 	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	経営所得安定対策等推進事業	225,022 千円	283,914 千円	199,718 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	制度への加入促進及び事業推進	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 経営所得安定対策の説明会開催 農業者別生産数量目安値の通知、申請書の配布、回収、実績確認等に係る農業再生協議会等の事業推進 主食用米以外への転換の推進 補助金交付 60か所、補助金額199,468千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	水田農業経営確立推進指導事業	6,972 千円	5,584 千円	6,055 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	水田農家の経営体質強化支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 水田農家の経営確立に向け、ジュース用トマト、白ネギ等の高収益作物等の導入検討や、地域振興品目のPR活動等に補助金を支給 補助件数4件、補助金額 1,840千円	
2	水田農業の体質強化に係る推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> 水田経営体の経営の複合化や、米の品質向上による経営確立を支援 そば、大豆等の転作拡大面 97ha 	
3	輸出用米の産地づくり支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業再生協議会、農業者、輸出事業者が連携して輸出用米の産地づくりを図る地域に対して、輸出用米の取組拡大に係る経費を支援 取組拡大面積 72ha（R4→R5） 	